

## 1 浜セの研究テーマは？

多様な子どもの主体的な学びを支える  
日々の実践に生かせるヒントとは

学級には多様な子どもが在籍しています。浜セでは、日々の授業づくりに励む先生方のお役に立てればと、「しまねの学力育成推進プラン」に基づき2つの研究をスタート！今回はその取組を紹介します。

## 2 教育相談スタッフの研究は？

人的なユニバーサルデザインの視点から  
学級づくり授業づくりにアプローチ

個別の支援に追われていませんか？県内の教職員調査から現場の切実な声が届いています。安心な学級づくり、授業づくりは、主体的な学びの土台です。人的なUDの視点から、個のニーズを学級全体の手立てへ広げるヒントを追究します。

## 3 もっとくわしく！

子どもを多角的に理解して、  
安心と参加につながる具体的な手立て

子どもを多角的に捉えるBPSモデルを用いて、子どもの言動の背景を考えました。そこから安心と参加につながる具体的な手立てをまとめた「子ども理解をカタチにするUDシート」を作成しました！

## 4 教育相談スタッフからお願い

子ども理解をカタチにするUDシートの  
ブラッシュアップにご協力ください

学校現場での活用に向けて、よりよいシートにするために先生方のご意見を聞かせてください！ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお祈りします。

浜田教育センター教育相談スタッフ TEL0855-23-6782

## 5 研究・研修スタッフの研究は？

子どもの「学びの主体的な調整」が  
なされる授業デザイン

近年、不登校の急増など子どもの多様化が進む中、すべての子どもの学習権を保障することに困難さを感じられていませんか？県内約100名の先生方へ行った授業についての意識アンケートによると、授業改善の視点の一つとして、多くの先生方が「子どもが自分で学習を調整できるよう促す指導」に難しさを感じておられることがわかりました。

## 6 もっとくわしく！

今の授業に「ちょい足し」で、  
子どもにとって選択肢のある授業に！

今の授業を土台に5つの要素から、子どもにとっての選択肢を増やす「ちょい足し」。この小さな「選択」の保障により、教師は「ガイド（教える人）」から子どもの学びを支える「伴走者」へと無理なくシフトし、すべての子どもが主体的に学ぶことができる授業づくりのヒントを一部ご紹介します！

## 7 「ちょい足し」のためのガイド

授業づくりの一助になればと思い、ガイドとなる成果物（試作版）を作成しました。

多様な子どもの主体的な学びを支える授業づくり  
～ガイドから伴走者へ ちょい足しで変わる子どもの自走力～

自己調整・自己決定をうながすための5つの要素

→主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

キーワードは**選択肢**！  
すでにやっていることもあったら、

試作版

**方法** どのように学ぶか  
目的に応じて道具や手段を用意する  
□教科書 □人  
□思考ツール □具身体・体験  
□ノート □ワークシート  
□タブレット（動画視聴・検索・スライド作成・記録等）

**課題** 何に取り組むか  
様々なカテゴリーで課題をつくる  
□レベル □興味・関心  
□ヒントカードつき  
□取り組む量 □必須と選択

**相手** 誰と学ぶか  
□一人 □ペア  
□グループ □先生  
□同じ課題を選択した人  
□同じベースの人  
□異学年  
□地域の人 □専門家  
□異なる学校の人

**時間** いつ、どのくらい学ぶか  
□活動の順番  
□全体の時間配分  
(どこに時間をかけるか  
・今日はどこまでやるか)  
□課題終了後の時間の使い方  
(復習・発展・サポート) ]

**自己調整・自己決定**  
5つの要素

**「自己調整」を促すポイント**

振り返りのちょい足し！  
□今日の学び方は自分にあったかな？  
□（今日の経験をいかし）次回はどうしたい？

子ども

選択するだけが目的ではありません。なぜうまくいったのか、次はどう変えるのかを言葉にすることで、自分自身の学びをコントロールする手ごたえを感じ始めます。

意識のちょい足し！  
□教えるから、問いかけるへ…  
教えることが必要な場面もあります。その上で、問いかける意図を大切にします。  
□評価から、価値づけへ…  
評価は学びを確かめる大切な手がかりです。その上で、子どもの工夫や成長を価値づけます。  
□指示から、環境整備へ…  
指示が必要な場面もあります。その上で、子どもが選択できる環境を整えます。

教師

何より、子どもの見取りを大切に！